

情 報 公 開 文 書

研究の名称	EGFR 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌の臨床経過に関する観察研究
整理番号	R2019103
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	内科学（第一）准教授 猪又峰彦
研究の概要	【研究対象者】 2007 年 1 月 1 日より研究期間内に非小細胞肺癌と診断されチロシンキナーゼ阻害薬による治療を受けた方。 【研究の目的・意義】 チロシンキナーゼ阻害剤は非常に優れた治療効果を呈しますが中には効果が不良な方も存在し、様々な経過がみられます。本研究では診断時の検査結果と治療開始後の経過との関係を解析することを目的とし、以下の項目について検討を行います。 各種の治療薬（EGFR チロシンキナーゼ阻害薬・細胞障害性抗癌剤・免疫チェックポイント阻害剤）の治療効果（無生存期間・腫瘍縮小効果）、各種の治療薬による副作用発現割合、全生存期間、T790M 遺伝子変異検出割合 【研究の方法】 当院で診療を受けた上記の患者さんのカルテ情報を研究に用います。個人情報漏えいしないよう、氏名やカルテ番号などは消去し解析に用います。 【研究期間】 2019 年 9 月 10 日から 2025 年 3 月 31 日 【研究結果の公表の方法】 学会や医学雑誌での発表を予定します。
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	本研究では、年齢、性別、身体所見、治療歴、最終受診日、画像所見、血算生化学検査結果、遺伝子変異・腫瘍タンパク発現検査結果を研究に用います。これらは他の医療機関に提供されることはありません。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	診療情報は富山大学附属病院で管理されます 責任者：富山大学内科学（第一） 准教授 猪又峰彦
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	富山大学附属病院長 林 篤志
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076-434-7288 E-mail minomata@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 富山大学内科学（第一） 准教授 猪又峰彦